

第5学年3組 国語科学習指導案

指導者 三浦 光太郎

単元名・教材名

「秋」を俳句で表そう！

「季節の言葉3 秋の夕暮れ」（光村図書 5年）

1 日時 平成27年11月18日（水）5校時

2 学年・組 5学年3組（男子21名 女子14名 計35名）

3 指導事項と言語活動

（1）指導事項

- 古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつこと。〈伝国（1）ア（ア）・イ（カ）〉
- 昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを俳句にして表すこと。〈書（1）ア〉

（2）言語活動

- 自分の感じた秋らしさを俳句にして表わすこと
十七音という制約の中で自分の感じた秋らしさが伝わるかを考えながら俳句作りに取り組むことで、秋らしい言葉に親しむとともに、自分の言葉として獲得することができる考えた。また、五・七・五のリズムをもとに言葉選びをすることで、文章を書くことに苦手意識をもっている児童も楽しみながら取り組むことができる。

4 単元目標

- 秋を表す言葉や文章に関心をもち、季節感を味わう。
- 昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを俳句にして書き表す。

5 区視聴覚・情報教育研究部の主題との関連

〈研究主題〉

「情報・視聴覚教材・機器に親しみ、互いに伝え合い、高め合いながら学ぶ子の育成」
～言語活動の充実の手立てとしての情報・視聴覚機器の活用～

(1) 児童の実態

(2) 主題に迫るための手立て

秋を感じることでできる言葉や俳句を、タブレットを使って全員で共有する。タブレットを活用することで、児童一人一人が確実に思考し、みんなの前に自分の考えを表すという活動が保証される。一斉に共有することができるため、考える時間を確保することができ、言語活動の充実につながると考える。また、タブレットを用いて友達と言葉や俳句を読み合うことでできる時間を設け、よさや工夫に気付いて伝え合うことで、お互いを高め合えるようにする。

(3) 使用する機器

・タブレット型端末36台（内1台教師用） ・ノートPC ・テレビ

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・秋を表す言葉に興味をもっている。	・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って俳句を書いている。	・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。

7 指導と評価の計画（全2時間）

学習活動と内容	評価規準と指導の手立て（○）〈評価方法〉
1 ○秋を感じた経験や秋の好きなところを、タブレットを用いて共有する。 ○「秋は夕暮れ」を音読し、表現された季節感を味わうとともに、秋の言葉や写真から、秋の様子を想像する。	○意見の共有を素早く行うため、タブレットを利用する。 ○意味を調べられるように辞書を用意する。 ○俳句づくりへの意欲をもたせるため、秋

○秋を表す言葉の意味を調べる。 ○秋を表す言葉や写真を参考にしながら、自分が感じる「秋」を俳句にする。	を感じる俳句をいくつか紹介する。 ・秋を表す言葉に興味をもち、秋を表す文章を読むことを楽しんでいる。〈音読・観察〉 ・言葉が表す感覚や様子を理解しそれを使って俳句を書いている。〈作品〉
2 自分の感じる「秋」がより伝わるような俳句にする。 (本時2／2) ○担任の作った俳句を工夫の視点に沿って作り変え、タブレットで共有する。 ○自分の俳句を工夫の視点に沿って作り変える。 ○グループで見せ合い、意見交換をする。 ○自分が感じる秋が表現できている俳句を選ぶ。 ○全員で鑑賞する。	○言葉や語順を変えると感じ方が変わることが分かるように、工夫の視点に沿って作り変えやすい俳句を用意する。 ○作り変えることで、自分が思う秋らしさや俳句の面白さに気づけるように、工夫の視点に沿って必ず作り変えるようにする。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっていう〈発言〉 ・言葉が表す感覚や様子を理解し表現を工夫して俳句を書いている。〈作品〉

8 本時について

(1) 本時目標

自分の思いがより伝わるような俳句を考えることができる。

(2) 本時展開 (2 / 2 時間)

学習活動と内容	指導の手立て (○) と評価規準〈評価方法〉
1 担任の作った俳句を、俳句作りの工夫の視点に沿って、作り変える。 2 タブレットで共有し、感想を言い合う。 3 本時のめあてを設定する。 自分の思いがより伝わるような俳句を考えよう。	○俳句作りの工夫の視点が想起できるように掲示物を用意する。 ○言葉や語順を変えると感じ方が変わることが分かるように、工夫の視点に沿って作り変えやすい俳句を用意する。
4 自分の俳句を、工夫の視点に沿って作り変える。 5 グループで共有し、自分の思いや、感じ方の違いを話し合う。 6 自分が感じる「秋」を表現できている俳句を黒板にはり、全員で鑑賞する。 7 学習を振り返る。	○作り変えることで、自分が思う秋らしさや俳句の面白さに気づけるように、工夫の視点に沿って必ず作り変えるようにする。 ○全員が思いを話せるようにグループで俳句を見合い、意見交換をする。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。〈発言〉 ・言葉が表す感覚や様子を理解し表現を工夫して俳句を書いている。〈作品〉